

がんの標準治療と

がん患者ケアに関する研修会

現在のがんの治療法は、患者の病状や状態によって外科療法・化学療法・放射線療法を組み合わせることが、最も効果的な治療(標準治療)となっています。治療の進歩により外科手術後の入院期間は短縮し、化学療法や放射線療法は外来で行うことが多くなっており、地域には治療による副作用を伴いながら在宅療養をしている患者が増えています。

本研修会では、がん患者の身体的状態や副作用の症状を見極め、適切なケアを提供していくために、現在のがんの標準治療の概要と、化学療法を受けている患者へのケアと支援方法のポイントについて学びます。

日時

平成27年

3月6日(金) 13:30~16:00

無料

場所

TKPガーデンシティ仙台 ホールD (AER 30F)

(住所:宮城県仙台市青葉区中央1-3-1 電話:022-714-8101)

対象

がん患者支援に携わる医療・福祉・介護従事者
(職種問わず)150名程度

Seminar

1

現在のがんの標準治療

(外科療法・化学療法・放射線療法)

東北大学病院がんセンター先進包括的がん医療推進室長
兼東北大学大学院医学系研究科地域がん医療推進センター 教授
森 隆弘

Seminar

2

がん化学療法を受けている 患者へのケアと支援のポイント

国家公務員共済組合連合会 東北公済病院 外来化学療法室
がん化学療法看護認定看護師

菅野 真貴 氏

申込方法：チラシ裏面をご覧ください。

主催

東北大学病院がんセンター先進包括的がん医療推進室・東北がんプロフェッショナル養成推進プラン

お問い合わせ先

東北大学病院がんセンター先進包括的がん医療推進室

TEL : 022-717-8885 FAX : 022-717-8886 Email : cancercenter@hosp.tohoku.ac.jp

